



インド第1バンジャブ連隊(鳥取市・石倉鳥取連隊) 昭和21.22年頃
〈生田晴美氏所蔵・鳥取県立公文書館提供〉

進駐軍は鳥取で なにをしていたか

県立公文書館県史編さん室
西村芳将

3種類 の進駐軍

実行部隊

Tactical Troop

武装解除と治安維持を任務として上陸した実践部隊（陸軍・空軍）

軍政部

Military Government Unit (team)

占領政策の地方レベルの進捗を監視。弁護士・退役軍人などの文官が多い。米第8軍司令部に月例報告書を提出（→占領期の鳥取を学ぶ会で解説中）

情報部（対敵諜報部）

Counter Intelligence Corps

占領政策遂行の障害となる事項を探查した諜報部隊。日系人を多数登用。

鳥取県に進駐した部隊

実行部隊

軍政部

情報部

米子

鳥取

米子経済部

旧海軍美保航空基地

???

英空軍第22憲兵隊

S20. 11-
米第6軍第10軍団第24師団
第3聯隊160名

S21. 5-
英空軍 (RAF) 第11飛行中隊
英空軍第17飛行中隊
英連邦インド空軍 (RIAF) 第4
飛行中隊

S23. 4-
第34オーストラリア歩兵旅団

23年5月7日
米軍に引渡し

中部47部隊 (岩倉兵舎)

S20. 10-
米第6軍第10軍団第24師団
第21連隊約200名

S21. 5-21. 8
英連邦インドパンジャブ
第1連隊第5大隊

イント独立
S22年8月帰国

鳥取大学学芸学部などに払下げ

西町木村邸

20
10
1
? 米軍情報部

二ノ丸

21
?
英連邦軍情報部

県庁・宣教師邸

S21. 2-6
鳥取
軍政中隊

教育会館

S21. 7-24. 6
鳥取軍政部

24. 7-11
鳥取民事部

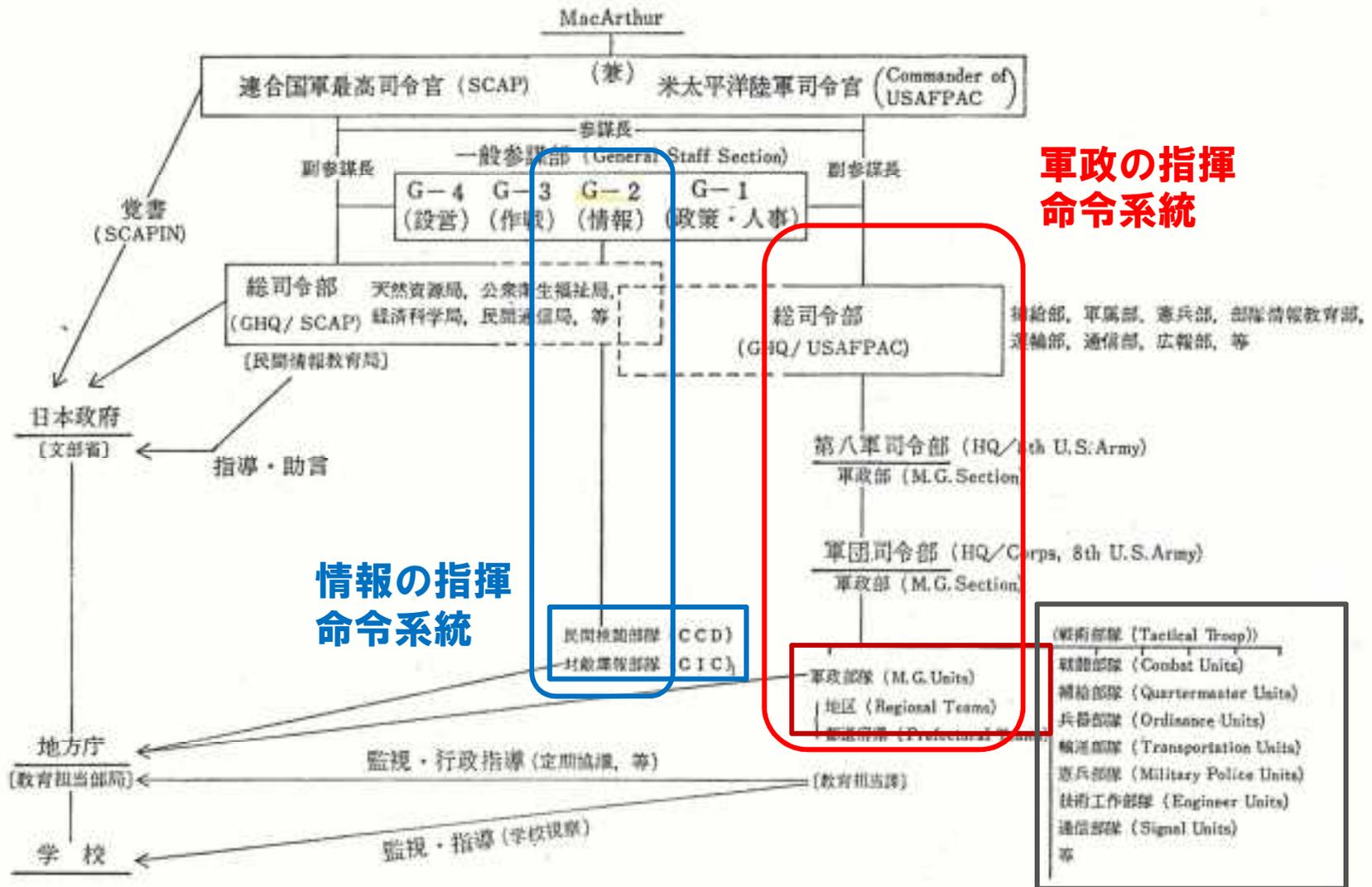
11/30 府県民事部廃止
(地区民事部へ)

12/31 第8軍民事部
→GHQ内民事局

※他に英印軍食糧供給部 (米子永興産業)、鉄道管理部 (RTO、鳥取駅・米子駅) あり

占領管理機構図

対日占領管理機構図(1946年7月現在)



軍政の指揮
命令系統

情報の指揮
命令系統

(注) 下記の諸資料を参照し、教育管理を中心として作成した。

第八軍司令部 "Status of Units and Station List" (『GHQ/SCAP Records』 CAS (B) 3586, "Headquarters 8th U.S. Army" (『外務省外 F13 p.505), 竹前栄治『占領戦後史—対日管理政策の全容』(1980) p.39

米第10軍第24師団

第21連隊（鳥取）、第3連隊（米子）

進駐軍の部隊変遷

実行部隊

軍政部

情報部

米子

鳥取

米子経済部

旧海軍美保航空基地

???

英空軍第22憲兵隊

S20. 11-
米第6軍第10軍団第24師団
第3聯隊160名

S21. 5-
英空軍 (RAF) 第11飛行中隊
英空軍第17飛行中隊
英連邦インド空軍 (RIAF) 第4
飛行中隊

S23. 4-
第34オーストラリア歩兵旅団

23年5月7日
米軍に引渡し

中部47部隊 (岩倉兵舎)

S20. 10-21. 5
米第6軍第10軍団第24師団
第21連隊約200名

S21. 5-21. 8
英連邦インドパンジャブ
第1連隊第5大隊

インド独立
S22年8月帰国

鳥取大学学芸学部などに払下げ

西町木村邸

20
10
? 米軍情報部

二ノ丸

21
?
英連邦軍情報部

県庁・宣教師邸

S21. 2-6
鳥取
軍政中隊

教育会館

S21. 7-24. 6
鳥取軍政部

24. 7-11
鳥取民事部

11/30 府県民事部廃止
(地区民事部へ)

12/31 第8軍民事部
→GHQ内民事局

※他に英印軍食糧供給部 (米子永興産業)、鉄道管理部 (RTO、鳥取駅・米子駅) あり

太平洋戦争における米第6軍の戦歴

[1943. 1. 22設置](#)、1943. 1. 25動員、1943. 2. 7前方部隊がカリフォルニアからブリスベーンに到着、1943. 2. 13前方部隊がブリスベーン郊外のコロンビアに司令部開設、1943. 4. 30第6軍司令官・参謀がアラモ軍の司令官・参謀を兼ねる、1943. 12. 15～1944. 2. 10[ニューブリテンとサイドール](#) (Saidor) 攻略、1944. 2. 29～5. 18アドミラルティ (Admiralty) 諸島攻略、1944. 4. 25～8. 25ホランダニア--アイタペ (Hollandia-Aitape) 作戦、1944. 5. 17～9. 2ワクデー--トエム (Wakde-Toem) 地区掃討、1944. 5. 27～8. 20ビアク (Biak) 攻略 (1944. 5. 20～8. 20) 、1944. 6. 16第6軍司令部とアラモ軍司令部をホランダニアのホレカング (Hollekang) に開設、1944. 9. 15～10. 4モロタイ戦、1944. 9. 25アラモ軍解散、1944. 10前方部隊の[司令部をレイテへ移動](#)、1944. 10. 13ミンドロ南西部攻略のため西ビサヤ任務部隊 (Western Visayan Task Force) 設置 (1945. 2. 1第8軍の下で解散) 、1944. 10. 17～12. 25レイテ戦、1944. 10. 24[サン・ホセ \(タルコバン \(Talcoban\) 飛行場附近\)](#) に司令部開設、1944. 11. 1レイテのタナウアン (Tanauan) に司令部開設、1944. 12. 15～31[ミンドロ戦](#)、1944. 12. 26レイテ--サマールの部隊の指揮を第8軍に引き継ぐ、1945. 1. 1ミンダナオの部隊の指揮を第8軍に引き継ぐ、1945. 1. 9～6. 30[ルソン戦](#)、1945. 7. 1ルソンの部隊の指揮の責任が第8軍に移る、[1945. 9. 25司令部が和歌山上陸、京都に司令部開設、富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の西日本を占領](#)、1946. 1. 26京都で動員解除。

第10軍団第24米歩兵師団の鳥取進駐

- 昭和16年10月1日ハワイ師団をもとに編制。16年12月8日真珠湾攻撃で師団司令部が攻撃を受ける。17年までオアフ島北部防衛を担当。18年オーストラリアに移動。19年ニューギニアで日本軍と戦闘、制圧。19年から20年にかけてフィリピンのレイテ・ルソン・ミンダナオ島等で日本軍と戦闘。飛行場を制圧。ミンダナオのパトロールを継続。
- 20年10月22日 師団将兵 1万2,000人が愛媛県松山に進駐し、司令部を愛媛県立図書館におく。
- 10月28日 先遣隊情報官ラスボン中佐一行6名米子到着。県内巡視（県庁、飛行場、道路、港湾、大山）11.6離県。
- 10月29日 第21歩兵連隊オスボン少佐以下197名が鳥取駅に到着。事務所を県庁内、宿舎を岩倉兵営におき占領業務を開始。



第24師団の師団章
タロイモの葉

米軍の司令部所在地

【第1図】 進駐部隊の主要司令部の所在地
(昭和20年10月15日頃の状況を示す)

占領初期

第6軍西日本／第8軍東日本



昭和21年1月

第6軍動員解除／第8軍日本全土

GHQ(総司令部)
xxxx Army(A) 軍
xxx Corps(C) 軍団
MC 海兵軍団
MD 海兵師団
CF 艦隊

出典：毎日新聞社「日本がいちばん苦しかったとき—21世紀への伝言」(暮らしの友本部)2001, 42-43頁及び「占領史録」(下)432-433頁

★
地図に表示したマークの六角形のは第6軍の、八角形のは第8軍の徽章である。



出典：丸の内中央法律事務所の事務所報弁護士堤淳一氏執筆「進駐軍が街にやって来た」(平成27年8月1日)
<http://www.mclaw.jp/column/tsutsumi/column036.html>

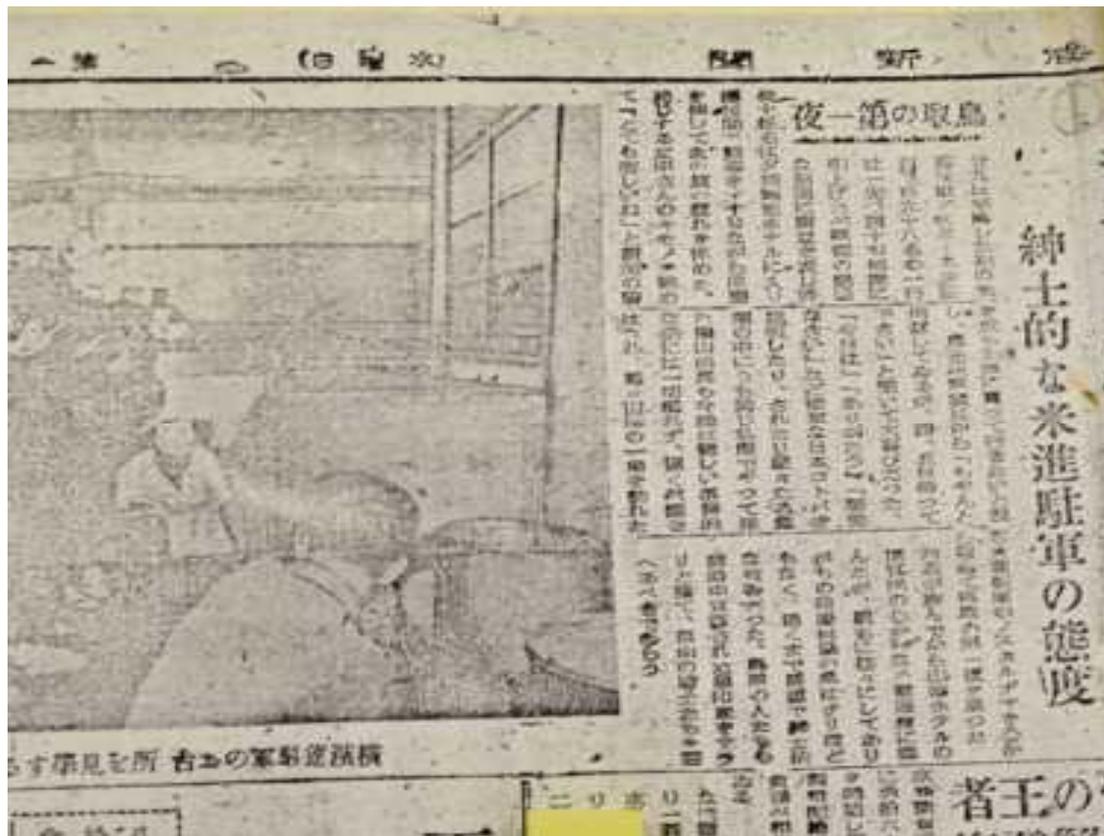


進駐軍二百名が昨日鳥取入り／駅頭に沸く朗かな爆笑

(日本海新聞 昭和20年10月30日付)

24歩兵師団の鳥取進駐

初の鳥取進駐部隊オスボーネ少佐以下198名の将兵は特別仕立の列車で27日午後0時15分鳥取駅着来鳥し、駅頭に出迎へた伊藤参謀、樺山警察部長、吉村市長等に軽く会釈してから駅長室に入り、酒井通訳官を通じて武器接收の打合を行った後将校は乗用車で、下士官はバスに分乗、はるばる持ってきたジープ2台を従へて宿舎四十七部隊に回った。県で最初将校用宿舎として観光ホテルを準備していたが、少佐以下はこれを謝絶し「だが兵営は非常に汚いから」と勧めるのを強って拒り兵と同一宿舎に入った。



紳士的な米進駐軍の態度 鳥取の第一夜

(日本海新聞昭和20年10月31日付)

24歩兵師団の 鳥取進駐

廿九日来鳥した初の米進駐軍アスポーネ少佐以下百九十八名の一行は一先づ四十七部隊に上げたが県側の懇切な招請に謝意を表し将校十余名は夕刻観光ホテルに入り応接間で煎茶をすすりながら足腰を伸して永の旅の疲れを休めた。給じする女中のキモノを眺めて「とても美しいね」と賛美の声を放ち土産に買って行きたいと洩し、倉光総務課長から「ちゃんと用意してあるが、四、五日待つて下さい」と聞いて大喜びだった。(中略) 覇者に往々にしてありがちな傲慢粗暴の風はチリほどもなく、飽くまで謙虚で紳士的な彼等だった。鳥取の人たちも戦時中宣伝された悪印象をサラリと捨て、自由の戦士たちを迎へるべきであらう

公文書館ホームページで見だし検索可能！

新聞記事に現れた「進駐軍」

掲載日	掲載日	見出し	番号
□	S20.09.04	連合軍進駐にも度を失せぬ用意	37
□	S20.09.10	進駐軍に接する場合は	117
□	S20.09.20	食肉は当分ご辛抱 進駐軍へ供給のため	205
□	S20.09.27	軍紀厳正一山口県警部補進駐軍を語る	283
□	S20.10.03	進駐軍専門のみやげ店開設一早くも米子市に準備	347
□	S20.10.14	民芸品など 進駐軍のお土産に併せて県下の産業再建一県商経会から計画案を答申	514
□	S20.10.20	土産品など一慰安バザー 米子市・進駐軍受入れに万全	604
□	S20.10.24	進駐軍来鳥の場合 鳥取市で協力隊など結成	656
□	S20.10.22	郷土の工芸美術を探る(一) 好評博して海外へ 進駐軍のお土産にも万点	637
□	S20.11.01	(写真) 進駐軍の買い物風景(鳥取市若桜街道所見)	773
□	S20.11.01	蘭秋の大山へ登る 米子進駐軍のラ中佐一行	774
□	S20.11.01	きのふ本社で会談一左側通行を厳に 進駐軍から市民に要望	775
□	S20.11.01	吹っ飛んだ杞憂 鳥取市内の進駐軍朗景	776
□	S20.10.31	鳥取の第一夜一() 紳士的な米進駐軍の態度	777
□	S20.10.30	進駐軍二百名が昨日鳥取入り 駅頭に沸く朗らかな爆笑	738
□	S20.10.30	進駐軍迎へる学徒の心得	742
□	S20.11.02	(写真) 婦人衣裳を身につけて喜ぶ進駐兵(きのふ鳥取市若桜街道筋の土産バザーにて)	790
□	S20.11.02	条件の良い進駐軍協力隊 無職者を優先的に選出する	791
□	S20.11.05	進駐軍中北條の軍施設接收	752
□	S20.11.04	親切な米軍将兵 掃除婦が語る宿舍の進駐軍	834
□	S20.11.05	大宅壮一氏の講演本社速記(上) 無事進駐は天皇制の威力 混乱してゐた軍の宣伝戦術	855
□	S20.11.05	鳥取署から注意一復員の軍装は止めよ 進駐兵の嫌ふことを避け!	849
□	S20.11.05	進駐兵は綺麗好き 石鹸持ってクリーニングに	850
□	S20.11.04	進駐兵(鳥取市末広座前に拾つた街頭親善風景)	828
□	---	(同前) 進駐兵の親善風景(鳥取市末広座前に拾つた街頭親善風景)	---

買い物風景

吹っ飛んだ杞憂

朗らかな爆笑

中北條の軍施設接收

進駐軍協力隊

S20.11.03 (写真) 美保飛行場を視察の米進駐軍第十軍団第二十四師司令コード代将	810
S20.11.03 進駐兵は裾模様が好み 鳥取市の呉服屋さんホクホク	進駐兵は裾模様がお好き
S20.11.03 (写真) 進駐軍点描	
S20.11.09 奇特的な進駐兵 墓口を交番へ	進駐軍もカニは大好き
S20.11.06 忘れぬ味覚 進駐兵も蟹は大好き	927
S20.11.11 米子に連合軍百六十名進駐	米子に160名進駐
S20.11.22 進駐兵を慰安 女給サンの奉仕	875
S20.11.27 供出を防げるもの誰ぞ 因伯革新党の政策発表から波紋 在鳥進駐情報官も注目	970
S20.12.02 進駐軍慰安所 市民用も計画中	進駐兵慰安所
S20.11.28 大集合に注意！進駐軍司令官命令	1157
S20.12.19 クリスマス招待 鳥取市が進駐軍幹部を	クリスマス招待鳥取市が進駐軍幹部を
S20.12.28 進駐軍ストンプ 享楽街に立入禁止命令	1199
S20.12.27 進駐軍の演劇検閲方針—剣劇も舞台に上演 但し民衆のために斬るもの	進駐軍の演劇検閲
S21.01.15 大工さん出動 進駐軍関係労務	0
S21.01.13 販売品は価格を表示 十五日から県下一斉に実施 進駐軍将兵の免税措置	7
S21.01.30 進駐軍の労務 特典付きの募集	1981
S21.01.29 進駐軍から鳥取署に 再び警告！！	進駐軍から鳥取署に警告
S21.02.26 進駐軍慰安 特殊施設協会設立	2301
S21.03.10 進駐軍の軍票 拒否せぬやう	進駐軍慰安特殊施設協会設立
S21.03.14 鳥取市民に進駐軍から注意	2795
S21.03.13 実弾射撃 進駐軍より市民に注意	鳥取市民に進駐軍から注意
S21.03.20 お米も特配 進駐軍から 大工等募集	3075
S21.03.27 進駐軍の交渉 日商国際局が仲介	3101
S21.04.06 不逞者を逮捕 進駐軍で窃盗	英印軍鳥取にも進駐
S21.04.19 英印軍鳥取にも進駐 五月中旬にパンジャツブ部隊が	5月中旬にパンジャツブ部隊が
	3272
	3420

**英印第1 パンジャブ連隊
第5大隊**

進駐軍の部隊変遷

実行部隊

軍政部

情報部

米子

鳥取

米子経済部

旧海軍美保航空基地

???

英空軍第22憲兵隊

S20. 11-
米第6軍第10軍団第24師団
第3聯隊160名

S21. 5-
英空軍 (RAF) 第11飛行中隊
英空軍第17飛行中隊
英連邦インド空軍 (RIAF) 第4
飛行中隊

S23. 4-
第34オーストラリア歩兵旅団

23年5月7日
米軍に引渡し

中部47部隊 (岩倉兵舎)

S20. 10-21. 5
米第6軍第10軍団第24師団
第21連隊約200名

S21. 5-21. 8
英連邦インドパンジャブ
第1連隊第5大隊

インド独立
S22年8月帰国

鳥取大学学芸学部などに払下げ

西町木村邸

20
10
? 米軍情報部

二ノ丸

21
?
英連邦軍情報部

県庁・宣教師邸

S21. 2-6
鳥取
軍政中隊

教育会館

S21. 7-24. 6
鳥取軍政部

24. 7-11
鳥取民事部

11/30 府県民事部廃止
(地区民事部へ)

12/31 第8軍民事部
→GHQ内民事局

※他に英印軍食糧供給部 (米子永興産業)、鉄道管理部 (RTO、鳥取駅・米子駅) あり

<input type="checkbox"/>	S21.04.19 英印軍鳥取にも進駐 五月中旬にパンジャブ部隊が	3890
<input type="checkbox"/>	S21.04.23 強制的でない 進駐軍協力労務	3952
<input type="checkbox"/>	S21.04.29 野球試合 進駐軍対鳥取一中 七対二で鳥中に	4111
<input type="checkbox"/>	S21.04.26 野球試合 一中クラブ 対進駐軍	4024
<input type="checkbox"/>	S21.05.06 進駐軍向労務 市当局よりお答へ	4227
<input type="checkbox"/>	S21.05.25 給与も引上げ 進駐軍 ■係務に常勤者を勧告	4614
<input type="checkbox"/>	S21.05.21 進駐軍に対する諸注意	4548
<input type="checkbox"/>	S21.06.01 米在鳥進駐軍 英印軍と交替	4788
<input type="checkbox"/>	S21.06.01 温い進駐軍の好意 重病の婦人に救ひの手	
<input type="checkbox"/>	S21.05.31 進駐軍労務 常時労務者倍加 これぞ割当半分	4759
<input type="checkbox"/>	S21.05.31 南国情緒豊かに行進絵巻を公開 英印軍がきのふ鳥取で	4759
<input type="checkbox"/>	S21.05.29 進駐軍の街路行進 州日鳥取市で展開さる	
<input type="checkbox"/>	S21.06.06 英印軍MP 治安維持に五日から出勤!	4883
<input type="checkbox"/>	S21.06.06 進駐軍設営用資材 生産促進に協力 命令の写しを県商工課へ	
<input type="checkbox"/>	S21.06.09 まだ足りない 進駐軍の労務者 最高金額一日三十七円!	
<input type="checkbox"/>	S21.06.18 進駐軍の物品を買ふと罪 米子で最初の軍事裁判	5121
<input type="checkbox"/>	S21.06.26 英印軍師団長来鳥	5248
<input type="checkbox"/>	S21.07.05 牛馬を虐待せぬよう 進駐軍から禁止指令	5402
<input type="checkbox"/>	S21.07.19 倒すな道路標示板 進駐軍から厳重警告	
<input type="checkbox"/>	S21.08.03 死を防ぐためには抵抗 進駐軍将兵の犯罪事故防止へ 軍政中隊から協力を要望	5941
<input type="checkbox"/>	S21.08.08 強制的かノーか 問題の種、進駐軍への労務	6037
<input type="checkbox"/>	S21.08.05 汗と闘ふ学生の群 働いて書籍代 進駐軍労務に毎日五十名	
<input type="checkbox"/>	S21.08.17 町内割當の全廃へ 一ヶ月後には常用者だけ 進駐軍労務	6193
<input type="checkbox"/>	S21.08.17 九州・四国・本州南部に警報 進駐軍気象観測所	6184
<input type="checkbox"/>	S21.09.06 学校日より 多い米工生の進駐軍向労役勤務	
<input type="checkbox"/>	S21.09.05 進駐軍労組同盟を結成	
<input type="checkbox"/>	S21.09.02 占領六ヶ月英聯の報告 進駐兵力三万八千 地域も一島六県二万平方哩に拡大	6454
<input type="checkbox"/>	S21.09.10 進駐軍専用車に乗らぬやう	6617

野球試合進駐軍対鳥取一中

米在鳥進駐軍 英印軍と交替

南国情緒豊かに後進絵巻を公開

英印軍MP治安維持に出勤

英印軍師団長来鳥

牛馬を虐待せぬよう

倒すな道路標示板

進駐軍専用車にのらぬよう

英連邦軍進駐後の 占領地域区分

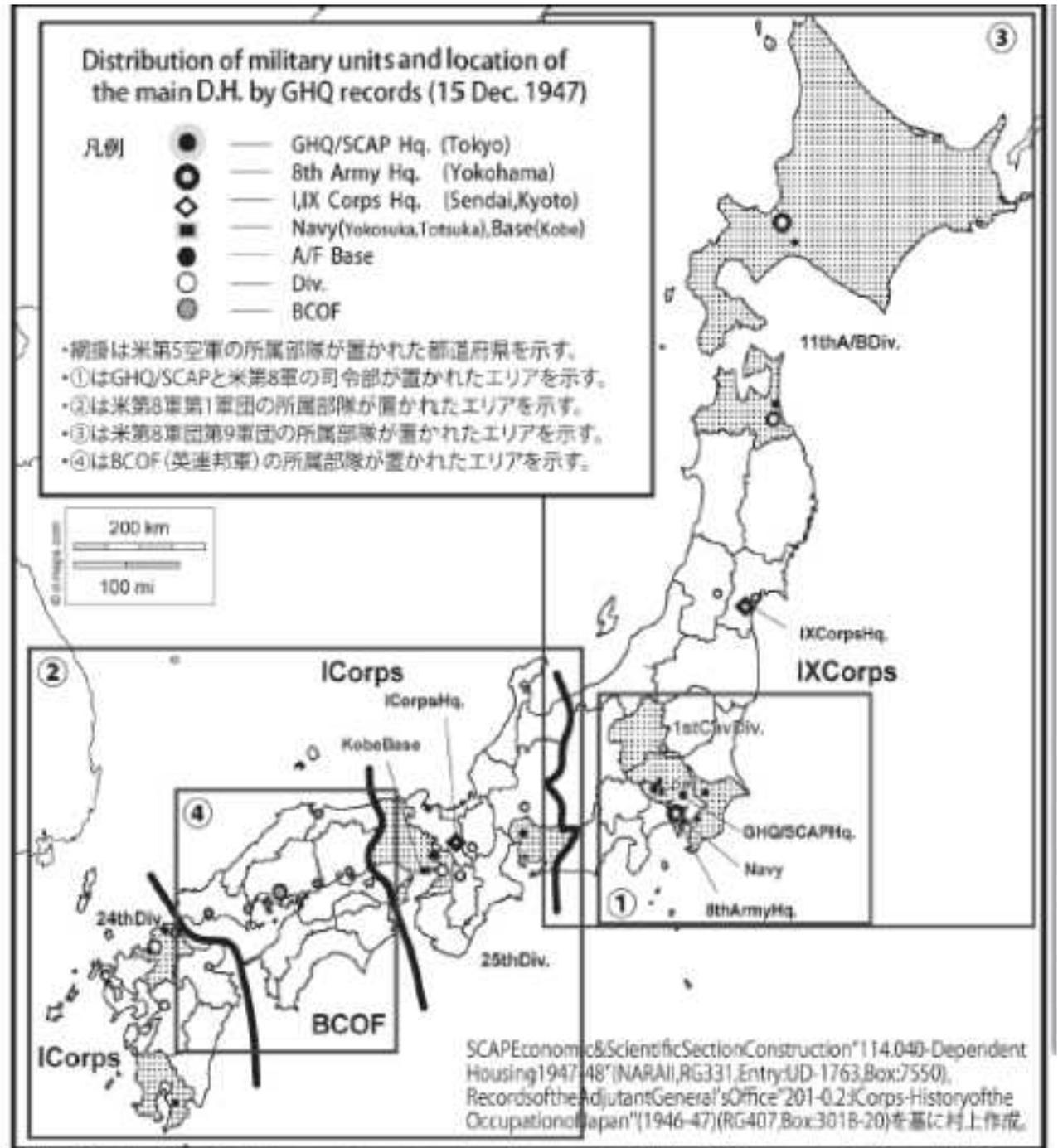


Fig.1 Distribution of military units and location of the main D.H. by GHQ records (15 Dec. 1947)

出典『占領下日本における部隊配備と占領軍家族住宅の様相』村上しほりほか

英連邦軍の 占領地区と時期

3-1表 BCOFの占領地区と時期

単位：人・平方マイル (km)

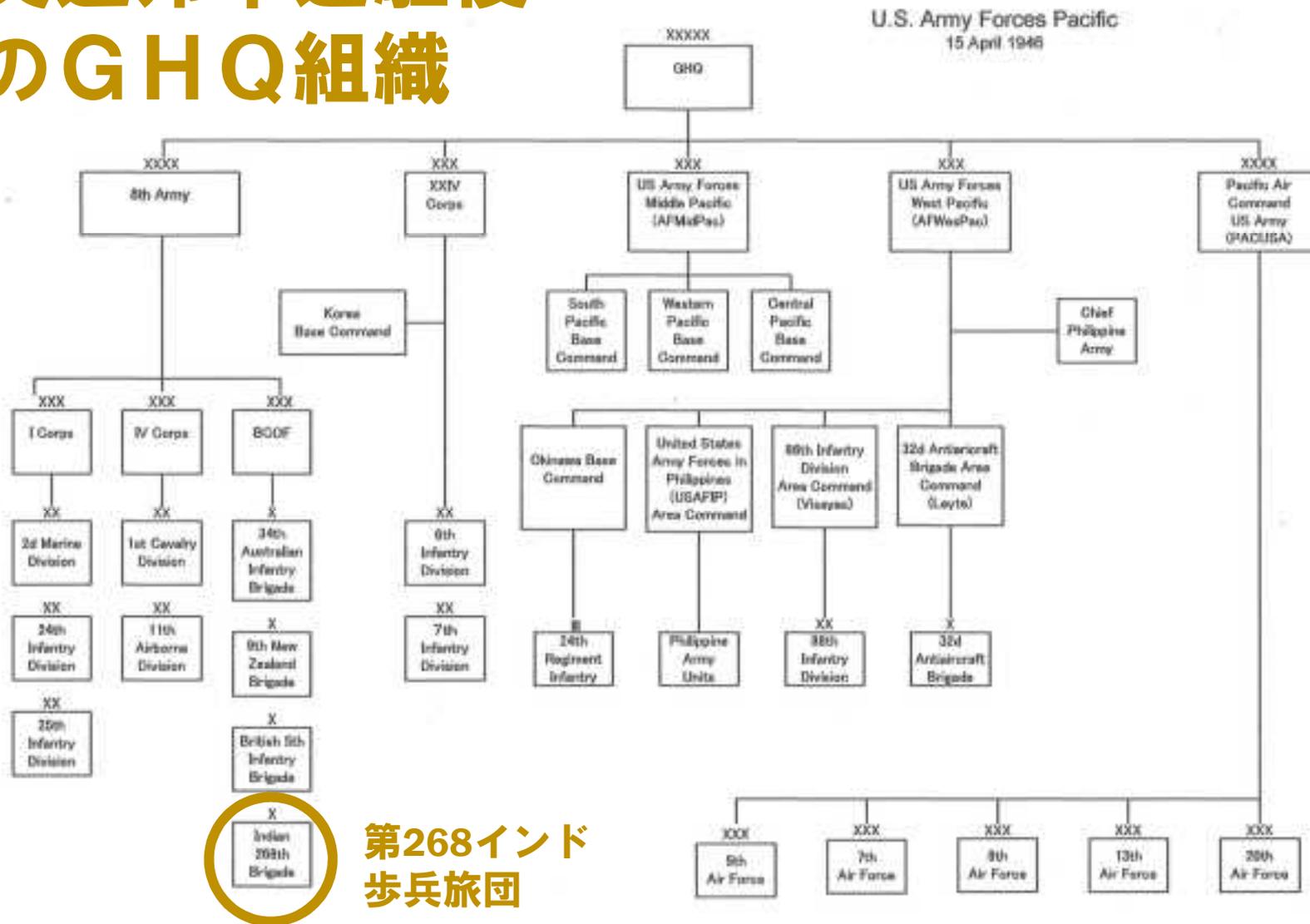
県名	人口	面積	BCOFが占領した時期
広島	1,870,000	3,257 (8,436)	昭和21年3月7日
山口	1,294,000	2,348 (6,081)	3月23日
島根	741,000	2,557 (6,623)	4月15日
鳥取	484,000	1,363 (3,530)	5月15日
岡山	1,329,000	2,752 (7,128)	6月10日
香川	730,000	726 (1,880)	5月23日
徳島	719,000	1,618 (4,191)	5月23日
高知	709,000	2,775 (7,187)	5月23日
愛媛	1,179,000	2,214 (5,734)	5月23日
計	9,055,000	19,610 (50,790)	

出所：BCOF Area and Population of Occupation Zone, Army X'mas Book, 1946 (AWM 114 130/1/23 pt.1).

注：面積欄の()内数字は、平方キロメートルの換算値である。

出典：千田武志『英連邦軍の日本進駐と展開』

英連邦軍進駐後 のGHQ組織



第268インド
歩兵旅団

Source: Organization of General Headquarters and Major Units / Supreme Commander for the Allied Powers and United States Army Forces Pacific

日本占領に参加した英印師団

編制 第5イギリス歩兵旅団＋第268インド歩兵旅団

司令官 D・T・コーワン少将

司令部 岡山

第268インド歩兵旅団配下の部隊

- ・ 旅団司令部（松江）
- ・ 第1パンジャブ連隊第5大隊（ビルマ戦線で活躍）→鳥取
- ・ 第5ロイヤル・グルカ・ライフル隊第2大隊（同）→岡山
- ・ マハラッタ軽歩兵隊第1大隊（イタリア戦線）→浜田

上陸経路 S21. 4. 29ボンベイ発の輸送船団で5月19日呉港着

英連邦インド パンジャブ第1連隊第5大隊

- ・ 英印軍「東洋の海に浮かぶイギリスの兵舎」＝インド大陸の治安維持、英領国境防衛、大英帝国拡張の起点。前身はイギリス東インド会社の旧マドラス軍。1857年の第一次インド独立戦争の後にイギリスによって創設。将校はイギリス人（インド人将校も少数あり）。第一次、第二次大戦で海外派兵。（アフガン戦争、エジプト出兵など）
- ・ 1944年、鳥取の郷土部隊「歩兵第121連隊」はビルマの戦いに参加。英印軍と戦闘し敗退。歩兵第121連隊史の名称は『渦巻くシッタン』。



第1連隊徽章
タロイモの葉

英連邦軍新聞s21.6.29



ON HIS LAST TOUR of BCOF units, the retiring C-in-C, Lt-Gen. John Northcott, shakes hands with Risaldar Maj. Ahmed Khan, who has had 34 years of service in the Indian Army, at 51 Punjab Bn. Hq., Tottori.

**Sally Says Cops
Can't See Straight**

New York, Fri.—Within 24

旧岩倉兵舎で英連邦
ノースコット総司令
官と握手を交わすパ
ンジャブ第1連隊第5
大隊長のカーン隊長

英連邦軍新聞s21.11.14

INDIAN SECTION Thursday, November 14, 1946.

In Bombay

C-in-C WATCHES 'HAZARE' DANCE



THE C-in-C, Lt-Gen Robertson, watches an 'Hazare Dance,' performed by the Hazare Company of the 5/1 Punjab Regiment.

URDU: C-in-C Lt-Gen Robertson "Hazara Dance" ko dekh rabe hain, joki 5/1 Punjab Regiment ki Hazara Company ne dikhaya.

2000 Kelle Commission

Qarib hi Indian Army men

英連邦軍総司令官が
パンジャブ第1連隊
第5大隊のハザレダ
ンスを観覧

英連邦軍新聞s21.12.20（左）、24（右）



皇居前広場での警備の交代をするパンジャブ第1連隊第5大隊と米軍第27連隊（左）、共同警備の準備をするパンジャブ第1連隊第5大隊・米軍第27師団第25連隊第1中隊（右）

英連邦軍新聞s22.2.4



雪の鳥取連隊運動場
(playground)

“drillground”
(練兵場) をもじっ
ている？

「映画ではコーンフ
レークを使うそうだ
が、鳥取の雪は本物
だ！」

英連邦軍新聞 s22.2.20

S21. 2英連邦軍統治開始一周年を
記念する誌面「BRINDIV STORY」

連隊ごとに一年間の活動を紹介



at home, 18 February, is behind this advertisement.

7th Light Cavalry Regiment.

On March 28, 1942, the first party from the regiment, comprising 2 officers and 28 men, arrived in Japan, aboard the "S.S. Oriskany."

This advance party prepared a temporary camp in Hiro. On the 18th April, the rest of the regiment arrived.

By May 12 the regiment was at Kurashiki, a very good spot, both from the point of view of ammunition, and for barracks accommodation.

All the beginning of June a series of races were undertaken, covering the whole of the regimental area.

The main tasks were marching for extended stints, and for subsidiary activity.

Local Gun Postings, C-in-C BCOF, at that time, visited us on June 16. On this day the first friendly race meeting was held.

In the beginning of September, we experienced a change of command when Colonel Hill left for leave in the U.K.

The C-in-C, Lt-Col. G. Robertson, with the GOC Brigade, paid a visit to the regiment on October 22, during his tour of the Brindis area. Two days previously the Squadron had departed to the regimental range for firing practice—the first time we had used our guns in Japan.

On the 13th November, a big regimental party was held in honour of



THE colourful costumes and skilled instrumentalists of the Indian regimental bands have become famous throughout occupied Japan. Here is Pipe Major, Sedar Khan, 5th Bn, 1st Punjab Regt.

Page 5—Supplement to BCOF, Thursday, February 20, 1942

5th Battalion, The First Punjab Regiment

The Battalion reached Kure on 18 May where it was met by the C-in-C BCOF, who inspected a Guard of Honour on the docks. The unit moved immediately to Tottori and began settling into the very modest barracks, partly occupied by a Coy of the U.S. Army, which housed over and a number of necessary was held for the flag changing in June 1.

On 20th May the Battalion with Band and Colours paraded through the streets of an impressed Tottori, doing a six mile Flag March.

In the next three months after arrival in Tottori, the whole of the municipal Prefecture was covered by patrols.

During the period the Battalion was visited by the C-in-C BCOF on June 17th. In October there were inspections by the new C-in-C BCOF, Lt-General Robertson and again by the GOC Brigade.

By November the Battalion was settled in all the barracks of Tottori. It had a canteen with a F.A.N.Y. detachment, started the Regimental Garden and reclaimed a large area of playing fields and a long and sturd range.

The Battalion moved on 1 December to Tokyo and took over Guards in front of the Imperial Palace from the 2nd Royal Welch Fusiliers on 2 December. Later detachments from 428 Inf. P.I. Coy and the HNGAF joined the Battalion in Tokyo.

On the 11th December the Battalion took part in a combined Guard Changing Ceremony in conjunction with 1 Coy 27 Inf. U.S. Army in front of the Imperial Palace. Guards of Honour were mounted for the C-in-C BCOF at Haneda Air Port and Tokyo Railway Station on 13 December and 25 December. In addition the Pipe Band proved a major attraction in an American Rail Cross procession on 21 December.

1st Battalion, The 1st Mahrattas Light Infantry

The Mahrattas, less advanced parties, set foot upon the Japanese island of

sumo. Their old a On 10th Batt four field fight down gun On

Sayonara

The 10th Brigade, commanded by Brig. P. L. is leaving Japan with its 10th Brigade, the only unit of the Central Area to participate in the campaign.

Accompanied by the of the Brigade, will be the 10th Brigade, the only unit of the Central Area to participate in the campaign.

The 10th Brigade, commanded by Brig. P. L. is leaving Japan with its 10th Brigade, the only unit of the Central Area to participate in the campaign.

ent e outd the. pol t your in Aug by 1 Mah field grow high Th eraly ing t turn the sion At fully send path Offi and. in 12 the more inge Th

パンジャブ第1連隊第5大隊

大隊は5月18日呉港着。すぐに鳥取に移動し、米軍が一部を使用していた荒廃した兵舎に駐屯。6月1日に軍旗交代の合同式典を行う。

5月30日軍楽隊と旗を用いて鳥取市内を6マイルの行進。続く3ヵ月で山がちの鳥取県全域をパトロール。

6月17日英連邦軍司令官ノースコットの視察を受け、11月には新司令官ロバートソンと英印軍司令官の査察を受けた。

11月までに大隊は鳥取のすべての兵舎を接收。英国女性部隊（First Aid Nursing Yeomanry）の売店もあった。（元連隊の庭園で大きな遊技場となった。）

12月1日に第2王立ウェルチ歩兵隊から皇居前近衛兵を引き継いだ。その後、インド第429野戦部隊と王立ニュージーランド空軍の派遣隊が東京の大隊に参加した。

12月11日、皇居前で大隊は米第27歩兵部隊第1中隊との合同交代式に参加した。BCOF総司令官の栄誉礼は、12月13日及び12月26日に羽田空港と東京駅でも行われた。12月21日のアメリカ赤十字の行進では、パイプバンドが魅了した。



Ceremonial retreat at Tokyo 1946.8.6

A guard from the 5th Ghurka Rifles, assisted by the massed pipe bands of the 1st Punjab Regiment, The Queen's Own Cameron Highlanders and the Royal Ghurka Rifles together with the Kumaon Regimental Band, conducted a ceremonial retreat on the Plaza outside the entrance to Hirohito's palace. Major General Cowan, General Officer Commanding Brindiv, took the salute at the march past. Lieutenant General (Lt Gen) Robertson, Lt Gen Eichelberger, Mrs McArthur and son were among the many Allied spectators of this event. A recording which includes an explanation and description of the event has been secured for Military History Section and has already been forwarded to Australia by Lieutenant Freeman.



AUSTRALIAN WAR MEMORIAL

132499

オーストラリア戦争博物館所蔵写真

TOKYO, JAPAN. 1947-01-06. THE 5/1 PUNJAB REGIMENT PRESENT ARMS TO THE RELIEVING 66TH INFANTRY BATTALION BEFORE THEY TAKE OVER GUARD DUTIES.

米軍と英印軍と日本軍